

令和7年度

# 学校推薦型選抜 学生募集要項



峰ヶ丘講堂（大正13年建築）

豊かな発想を地域に，新たな知を世界へ



宇都宮大学

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>



# インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

# 1



### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。  
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど



## STEP

# 2



### インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイトURL

<https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/>



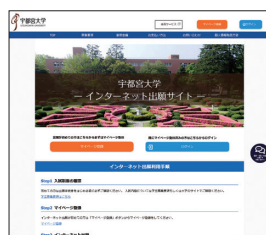
## STEP

# 3



### マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。  
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。



③ ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて「ログイン」をクリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。



⑨ 登録完了となります。  
マイページへ  
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。  
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

## STEP

# 4

## 出願内容の登録

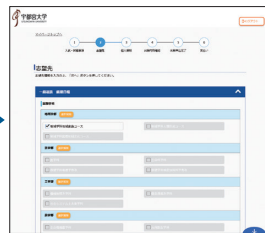
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の  
**出願手続きを行う** ボタン  
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード  
**写真選択へ** ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の  
入力



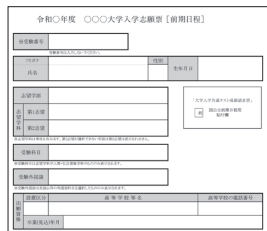
⑥ 出願内容の確認  
**志願票(サンプル)** ボタンを  
クリックすると志願票が確認できます。



⑦ 申込登録完了  
**引き続き支払う** ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法  
● コンビニエンスストア  
● ペイジー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF  
(イメージ)  
※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の  
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス  
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号  
メモ(13桁)

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済  
番号メモ(11桁)

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号  
メモ(11桁)

確認番号  
メモ(6桁)

収納機関番号  
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで  
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を  
許可してください。 ※ 確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願  
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

## 入学検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi LAWSON MINI STOP

マルチコピー機 あなたも、コンビニ、FamilyMart

## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

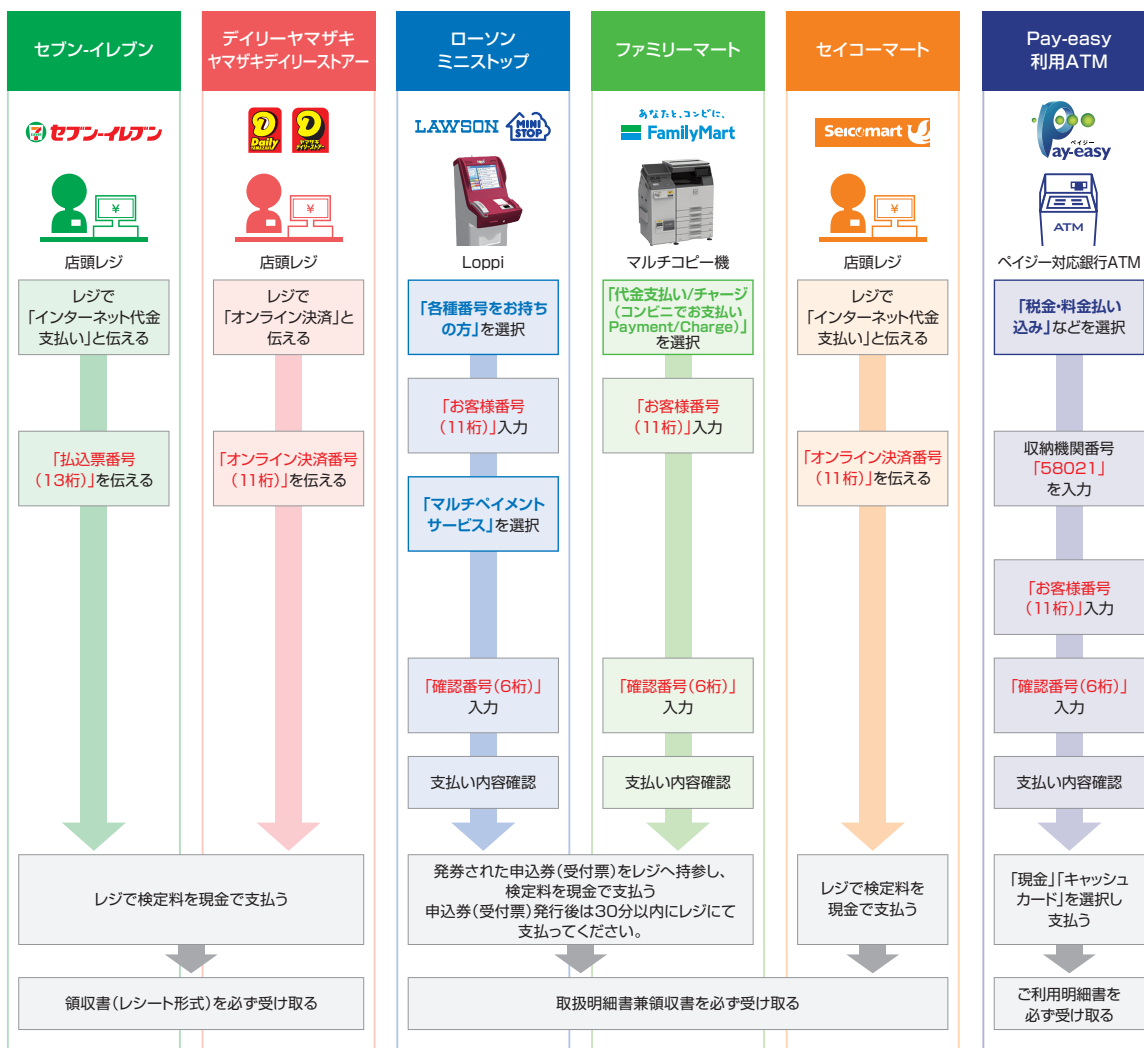
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



## 4 銀行ATM

## STEP

6

## 必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照して準備してください。  
インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも高校等に請求いただく書類や本学のホームページから様子をダウンロードして作成する書類がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。

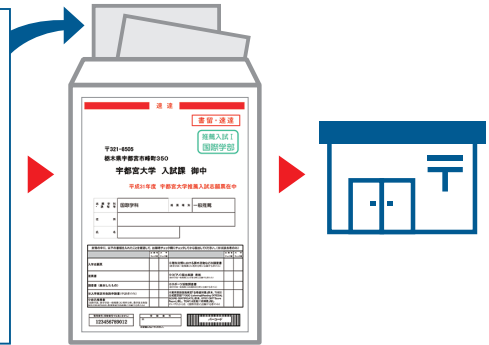


出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

## ■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。



出願書類提出用宛名シート  
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)  
に貼り付けて作成

## 「Web志願票」の印刷方法



- マイページに表示された「願書等の印刷」のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると「願書等の印刷」のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

## 〈出願完了〉

出願時の  
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払は出願締切日15時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

## STEP

7

## 受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。

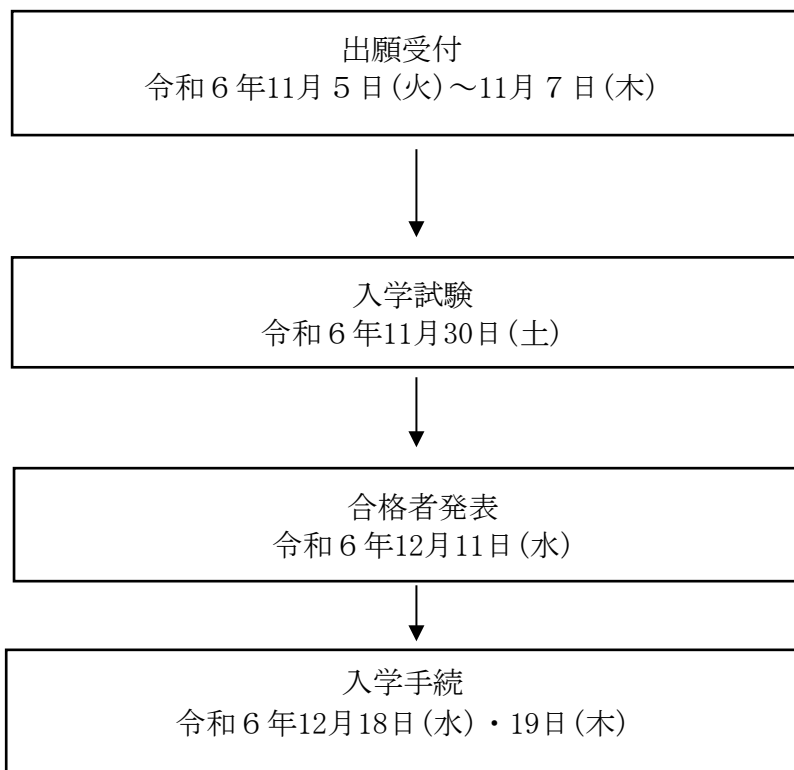


宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、24ページをご覧ください。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけの配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

なお、最終ページに栃木県の高校生を対象とした奨学金のご案内を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

## 【学校推薦型選抜主要日程】



インターネット出願 事前登録期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願期間（必着）
令和6年 10月28日（月）～	令和6年 11月7日（木）15時	令和6年 11月5日（火）～ 11月7日（木）17時

### ～個人情報の取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

# 《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針，教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	18
4	出願資格	19
5	出願手続	21
(1)	出願方法	21
(2)	出願期間	21
(3)	提出方法・提出先	21
(4)	入学検定料について	21
(5)	事前準備について	22
(6)	出願書類等	23
(7)	出願書類に関する注意事項	24
(8)	入学検定料免除について	24
(9)	受験票の印刷について	25
6	疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	25
7	選抜の方法及び選抜日等	26
(1)	選抜の方法	26
(2)	選抜の日時及び試験場	27
(3)	試験時間割	27
8	受験上の注意事項	28
(1)	試験当日の注意事項	28
(2)	不正行為	28
9	入試過去問題の使用について	29
10	合格者発表	29
11	入学手続	29
(1)	手続期間	29
(2)	入学手続方法	30
(3)	入学手続時に必要な納付金等	30
(4)	入学後に必要な諸経費	30
(5)	マイナンバーカードの使用について	30
12	留意事項	30
13	その他	31
14	令和6年度学校推薦型選抜入学者選抜状況	32
15	試験場案内図	33



# 1 宇都宮大学の理念と方針，教育目標

## ★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

## ★教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

### 宇大スタンダード

- |          |   |
|----------|---|
| 【論理的思考力】 | 筋道を立てて論理的に物事を考える力   |
| 【情報活用力】  | 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力                                      |
| 【表現力】    | 感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力                        |
| 【学修力】    | 一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力<br>変化に対応し、自らを変えようとする力 |
| 【協働力】    | チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力<br>多様な人々との繋がりや協働を生み出す力            |
| 【課題解決力】  | 多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力<br>課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取り組む力    |

# 2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

## 宇都宮大学アドミッション・ポリシー

### 求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

# 国際学部 国際学科

## アドミッション・ポリシー

### I プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的に行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

### II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的な好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	国際学科では、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指し、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）(1年次)、多文化共生基礎科目（1～2年次）からグローバル実践力基礎科目（2年次）、専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前期）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。	多文化共生を軸とした専門教育の基礎となる主要な知識、論点を理解する能力、実用的かつ学術的な英語の運用能力、英語以外の外国語を学修し、多様な地域や文化を理解しコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を有していること。また、社会文化的課題や問題を多様な地域や論点と関連づけ、多角的に理解する能力、グローバルな視点から問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集し、適切な方法で分析し、論理的にまとめ発表する能力（文書および口頭）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を身につけるための基礎的学力と意欲を必要とします。

### 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国語の運用能力が必要です。また、国際的な社会的文化的事象に対して幅広い知識と関心を持ち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持っていることが重要です。上記のことに加え、学習活動などを通して、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

#### (1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人
- ② 多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性を持っている人
- ③ 学修経験や国籍に関係なく、国際的な問題に高い意識を持ち、それらを論理的に論じることのできる能力を持っている人
- ④ 多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人
- ⑤ 多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人
- ⑥ 世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基本的な知識を得ているかを調べ、個別学力検査等では、国際的な社会的文化的事象について論じる小論文と、一定の運用能力をはかる英語試験を課し、論理的な作文能力があるか、外国語運用能力の基礎があるかをはかります。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等を含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類(調査書、自己推薦書等)と面接を総合して選抜を行います。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、自分の考えを自分の言葉で語るることのできる表現力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 B (帰国生)	出願書類(成績証明書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。小論文では与えられた課題文の趣旨を的確に理解する能力と、自分の知識を活かして独自の考えをまとめる能力が求められます。面接では本学科で学ぶための適性と学修意欲をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 C (社会人)	出願書類(志望理由書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。総合的な問題把握能力、国際社会や異なる文化を理解するための一般的な知識、総合的な思考力、構成・表現力を評価するための小論文、さらに国際的な社会的文化的事象に対する関心、学修意欲、知識、問題把握能力を評価するために面接を課し、本学科で学ぶための基礎学力があるかをはかります。
総合型選抜 D (外国人生徒)	出願書類(志望理由書等)と小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。小論文では与えられた課題文の趣旨を的確に理解する能力と自分の考えを論理的にまとめる記述力をみます。面接では本学科で学ぶための適性と学修意欲をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	出願書類(成績証明書等)、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア、学力検査等を総合して選抜を行います。日本留学試験では大学で学ぶための基礎学力を重視し、「日本語」「総合科目」「数学(コース1)」を評価対象とします。学力検査等では小論文と面接により基礎学力をはかるとともに、本学科で学ぶ目的および適性をみることに主眼をおきます。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等		
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆				
	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆				
	小論文	☆☆☆	☆☆					
	出願書類(調査書)				○			
学校推薦型選抜	面接	☆		☆☆☆			☆☆☆	
	英語外部試験	○						
	出願書類(自己推薦書等)	☆☆☆		☆☆☆			☆☆☆	
総合型選抜	B (帰国生)	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆		☆☆☆			☆☆☆
		小論文	☆☆		☆☆☆	☆		☆
		出願書類(成績証明書等)				○		
	C (社会人)	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆		☆☆☆			☆☆☆
		小論文	☆☆		☆☆☆	☆		☆
		出願書類(志望理由書等)	☆☆☆		☆☆☆			☆☆☆
D (外国人生徒)	英語外部試験	☆☆☆			☆			
	面接	☆		☆☆☆			☆☆☆	
	小論文	☆☆		☆☆	☆		☆	
	出願書類(志望理由書等)	☆☆☆		☆☆☆			☆☆☆	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆			☆			
	日本留学試験	☆☆☆			☆			
	面接	☆		☆☆☆			☆☆☆	
	小論文	☆☆☆		☆☆	☆		☆	
	出願書類(成績証明書等)				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

## I プログラムの概要

本学部は4系13分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうち一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2年次、3年次には両大学の学生による対面授業も行われます。小・中・高等学校及び特別支援学校、幼稚園の教員免許を取得するためのプログラムを備えています。卒業単位を修得することで、小学校1種、及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校1種の教員免許を取得できることを特徴としています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

## II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、また、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教職実践科目を備えています。</p>	<p>教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部のすべての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教職実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。</p>

## 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人
  - ② 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
  - ③ ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
  - ④ 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人
  - ⑤ 様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人
  - ⑥ 教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の3つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接ではすべての系に共通して教職への関心や適性を問います。
総合型選抜 A (一般)	教職に携わる意欲、子どもの発達と教育への関心、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。 出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。
学校推薦型選抜	将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います(※1)。 出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接			☆☆	☆☆	☆☆☆	
		小論文 ※2	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		実技検査 ※2	☆☆☆					
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜 A (一般)	A (一般)	出願書類(スポーツ活動調査書) ※3	☆☆					
		講義レポート作成 ※4			☆☆☆			
		グループディスカッション ※4				☆☆☆	☆☆	
		小論文 ※4	☆☆		☆☆☆			
		基礎能力試験 ※4	☆☆☆					
		実技検査等 ※4	☆☆☆					
		プレゼンテーション及び面接 ※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		面接 ※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		出願書類(調査書)				○		
出願書類(志望理由書)				○				
出願書類(受験者本人が記載する活動報告書等) ※5		☆☆☆			☆			
学校推薦型選抜		面接		☆☆		☆☆☆	☆	☆☆☆
		小論文	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		出願書類(調査書)				○		
		出願書類(推薦書)			○			

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。

※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。

※3 保健体育分野の選抜で課されます。

※4 総合型選抜 A (一般) では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。

※5 教育分野、英語分野、理科分野、音楽分野及び保健体育分野の選抜で課されます。内容は、各分野ごとに異なります。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 工学部 基盤工学科 アドミッション・ポリシー

## I プログラムの概要

各自の志向に合った専門を極めつつ幅広い知識をも備え、様々な知見と技術を繋いで新しい社会を創出できる技術者を養成します。工学的視点で社会・人間・生命を見つめるための教養と工学に関わる基礎学力を身につけ、種々の技術分野の概要と最新動向に関する知識を得て、各自の志望コース（応用化学、機械システム工学、情報電子オプティクス）を選択します。各々の専門知識を蓄え関連技術を修得しながら、その周辺分野に学修範囲を広げます。さらに「卒業研究」等を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

## II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心/身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により各専門分野の概要と最新動向に触れ、コース選択の準備をします。</p> <p>2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、プロジェクト科目や卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。</p>	<p>本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に化学・物理・数学など理数系科目に関する基礎学力を身につけておくことが必要です。また、応用化学・機械システム工学・電気電子工学・情報科学・光工学など、工学の専門分野のいずれかに強い興味と関心を持ち、“将来工学技術者として社会に貢献したい”という熱意を持つことが望まれます。さらに、物事を科学的、論理的に思考し判断しようとする姿勢、その経過や結果を他者に適切に伝えようとする姿勢が、社会で活躍できる技術者・研究者に成長するために必要です。</p>

## 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識と、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
  - ② 「工学の専門分野\*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
  - ③ 科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
  - ④ 「工学の専門分野\*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人
  - ⑤ 主体性をもちつつ、さまざまな人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人

入学時に必要な  
能力や適性等

「工学の専門分野\*」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指します。

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等(数学・理科・英語)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜 (後期日程)	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等(小論文)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等(小論文)により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜 A (一般)	「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答、および面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションと質疑応答について、「化学系」では、理科全般あるいは化学に関して取り組んだ課題についてのプレゼンテーションと質疑応答(化学の基礎知識に関する確認を含む)を、「機械・情報電子系」においては、理数系分野に関して取り組んだ課題についてのプレゼンテーションと質疑応答(物理や数学の基礎知識に関する試問を含む)をそれぞれ評価します。面接に関しては、入学後の抱負や勉学に対する意欲などのほか、「化学系」では、化学への興味と関心の強さを、「機械・情報電子系」では機械・情報・電気電子・光工学などへの興味と関心の強さをそれぞれ評価します。
学校推薦型選抜	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。調査書および基礎能力試験(数学・理科・英語)と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。この他、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生選抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査(数学・理科)の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、「工学の専門分野」を学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
	後期日程	個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜 A(一般)	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
	A(一般)	小論文			☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
学校推薦型選抜	A(一般)	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆	☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
		出願書類(自己推薦書)	☆☆		☆☆☆	☆☆	
		基礎能力試験	☆☆☆	☆	☆		
私費外国人留学生選抜	A(一般)	面接			☆☆	☆☆☆	
		出願書類(推薦書)			○		
		出願書類(調査書)	☆☆		☆	☆☆	
		英語外部試験		☆☆☆		☆☆	
私費外国人留学生選抜	A(一般)	日本留学試験	☆☆☆	☆	☆☆	☆	
		学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
		出願書類(成績証明書等)			○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 農学部 生物資源科学科 アドミッション・ポリシー

## I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象にして生物資源の持続的生産における過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めることができるアクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、それらの関連分野において地域はもとより国際的に活躍できる行動的知性を備えた人材を養成しています。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

## II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>1年次には、農学体系の全体像や人々の暮らしと農業との関わりを理解するため、農業と環境の科学、農学部コア実習、生物資源の科学を学びます。また、基礎科目として生物や化学、生産学などを学びます。2年次から3年次前期には、専門教育科目として、生物資源・生産環境・生物機能・生物生産技術に関連する科目を学びます。3年次後期から4年次にかけては、生物資源科学を総合的・多面的に理解して、地域や地球がかかえる諸問題を解決するための技術と研究の情報に触れ（ゼミ、特別演習など）、一連の研究活動の実験を経験する（卒業論文）中で、生物資源科学に関する専門職業人となるための能力を身につけます。</p>	<p>生物資源の専門分野への関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。生物資源とそれを取り巻く環境について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

## 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では動植物や昆虫などの多様な生物資源の働きやその利用について、生命科学の視点から理解を深めることができる教育プログラムを提供し、それらの関連分野において地域はもとより国際的に活躍できる人材養成を目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。



### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

#### (1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 生物資源科学の基礎となる数理科目等についての基礎的な知識を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている。
- ④ 生物資源科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている。
- ⑥ 将来、農業やその他の産業に従事し、それぞれの分野の指導的立場をめざす意欲を持っている。

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では理科(生物もしくは化学)または数学、並びに英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、専門分野に関する講義受講後のグループディスカッション、講義とグループディスカッションの内容をふまえたレポートの作成、及び面接の結果を総合して選抜を行います。講義では生物や化学など高等学校等で学習する内容を含むことがあります。面接は個人面接とし、「活動経験についての報告書」及び「進学後の自己設計書」に関する質問を含みます。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	面接および小論文の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
	後期日程	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜 A(一般)	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
	面接			☆☆		☆☆☆		
	出願書類(調査書)				○			
	A(一般)	グループディスカッション ※1	☆		☆☆☆		☆☆	
		レポート作成 ※1	☆		☆☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
出願書類(調査書)					○			
	出願書類(活動経験についての報告書)				○			
	出願書類(進学後の自己設計書)				○			
学校推薦型選抜	後期日程	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆				
	出願書類(推薦書)				○			
	出願書類(調査書)				○			
私費外国人留学生選抜	後期日程	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆				
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆		
	出願書類(成績証明書等)				○			

※1 グループディスカッション、レポート作成は「専門分野に関する講義」を受講したのちに行う。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 農学部 応用生命化学科 アドミッション・ポリシー

## I プログラムの概要

生命の営みを支える物質を明らかにすることや、その代謝などによる構造や機能の変化を解明すること、すなわち、さまざまな事象を“物質の流れ”という観点から解明することを通じて、真に豊かな暮らしを支える科学技術の発展を図るための基本的・応用的な教育研究をおこないます。生命・食品・環境の分野の諸問題の解決に取り組むための知識・技能と行動的知性を備え持つ人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

## II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的な好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>生化学、食品化学、微生物学、分子生物学、有機化学、および化学実験の科目から構成されており、以下の要素を修得します。(1) さまざまな事象を“物質の流れ”として把握できる力、すなわち、「化学」をツールとして使いこなす力を養成します。基礎有機化学、基礎無機化学および演習科目などにより基礎的な化学を、食品化学、高分子材料化学、生物有機化学などにより発展的・応用的な化学を修得します。(2) 科学技術の実践的「応用力」を学修するため、基礎化学実験、応用生命化学実験などの科目を修得します。(3) 「生命」について広い視座で修得するために、基礎生命科学、分子生理学、分子生命科学、微生物学、生物化学などに加え、食と細胞の科学、化学と生命など、人々の暮らしに関する問題意識や、哲学・倫理的な考え方なども必要とする科目を修得します。</p>	<p>本学科における学びを進めるためには、応用生命化学の専門分野への幅広い関心や、持続可能な社会の創造に貢献したいという意欲が必要となります。生命・食品・環境の分野の諸問題の解決に取り組む力を身に付けるためには、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに取り組む力を身に付けるためには、学んだ知識を組み合わせ道筋をたてて様々な面から考察しようとする姿勢が求められます。さらに、これらの学びを深めていくために、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

## 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校等では、様々な教科・科目の学習に積極的に取り組み、基礎的学力をバランスよく身に付けてください。また、探究学習等においては、異なる分野（科目等）の知識を組み合わせることも、一緒に取り組んでいる仲間の意見にも耳を傾けてみることもなどを心がけ、好奇心を持って取り組んでください。高等学校等における学びやクラブ活動等の場においては、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、考え方には多様性があることを感じ取るよう努めてください。

### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

#### (1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 応用生命化学の基礎となる化学や数理科目等についての基礎的な知識を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている。
- ④ ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、簡潔に分かりやすく表現できる。
- ⑤ 真に豊かな暮らしを支える科学技術を発展させたいという意欲を持っている。
- ⑥ 科学に対する熱意、主体的な姿勢、コミュニケーション能力を持っている。

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では、入学後の学びの基本ツールとなる化学および英語についての知識や思考力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では、面接により諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要とされる、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	論述試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。論述試験では、化学基礎及び化学に関する基礎知識や論理的思考力を評価します。面接は、化学に関する内容の口頭試問および出願書類(自己推薦書)に関する質問を含み、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	面接および小論文の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
	後期日程	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜 A(一般)	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
	後期日程	面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)				○		
		論述試験	☆☆☆	☆☆	☆			
学校推薦型選抜	後期日程	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類(推薦書)				○		
		出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜	後期日程	英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(成績証明書等)				○		

※1 グループディスカッション、レポート作成は「専門分野に関する講義」を受講したのちに行う。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 農学部 農業環境工学科 アドミッション・ポリシー

## I プログラムの概要

農村環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産の確保、再生可能エネルギーやバイオマス資源の利用に関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍でき、行動的知性を兼ね備えた技術者を育成することを目指しています。2年生後期から、①水土環境工学コース、②食料生産システム工学コースのいずれかに分属し、それぞれの専門領域について学修します。この2コースではそれぞれ、①地域資源・地域環境の適切な利用と管理、田園空間の総合的デザインに携わる専門技術者、②圃場機械や栽培・流通施設、廃棄物・バイオマス管理など、食料生産環境システムの機構とその設計、制御に携わる専門技術者の育成が図られます。なお、本プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

## II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>①水土環境工学コース、②食料生産システム工学コースの2コースがあり、学生の履修すべき専門科目は学科共通必修科目、コース別必修科目、コース別選択科目に分類されます。「農学の役割について理解し、認識を深める」ことは主として基盤教育で培われ、「自然環境の理解と技術者としての責任感」、「田園空間環境創出のための工学的手法」、「課題解決能力や論理的思考力」等を習得するために必要な科目群を学科共通必修、「データ解析力」の習得に必要な科目群をコース別必修として配置しています。コース分属が2年生後期開始時であるため、学科共通必修科目は1年生から2年生前期に開講されます。</p>	<p>環境と調和した農業システムへの関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農村環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産の確保、再生可能エネルギーやバイオマス資源の利用などについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な理数系を中心とした教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して田園空間環境を創出するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

## 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産、再生可能エネルギーなどに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

#### (1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 農業環境工学の基礎となる数理科目等についての基礎的な知識と学力を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取る力、論理的な思考力、判断力を備えている。
- ④ 広く社会や環境に関わる問題意識をもち、諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている。
- ⑥ 環境と調和した農業システムや田園空間の創出に関心および情熱を備えている。

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では数学および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、専門分野に関する講義の受講、講義内容をふまえたグループディスカッション、講義内容及びグループセッションの内容をふまえたレポートの作成、面接の結果を総合して選抜を実施します。グループディスカッションでは、主体性、判断力、協働能力・コミュニケーション能力を評価します。小論文では、基礎学力、思考力、表現力を評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
	後期日程	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜 A(一般)	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
	後期日程	面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)				○		
	A(一般)	グループディスカッション ※1	○		☆☆☆		☆☆	
		レポート作成 ※1	○	☆☆☆	☆☆☆	☆☆		
面接					☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)				○			
学校推薦型選抜	後期日程	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			☆☆☆	
	出願書類(推薦書)				○			
	出願書類(調査書)				○			
私費外国人留学生選抜	前期日程	英語外部試験	☆☆☆					
	後期日程	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆			☆☆		☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○			

※1 グループディスカッション、レポート作成は「専門分野に関する講義」を受講したのちに行う。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 農学部 農業経済学科

## アドミッション・ポリシー

### I プログラムの概要

本プログラムは、農学部で唯一の文系学科として、国内外の食料・農業・農村について、社会科学の視点から教育・研究・地域貢献を行っています。食料・農業・農村にかかわる生産、加工、流通、消費、貿易を対象に、行政や農業関連団体、金融や食料関連産業の分析を含めて総合的に学修します。21世紀の世界が直面する諸問題の解決に寄与できるよう、広い視野から実社会に貢献できる行動的知性を備えた人材を養成する目的でカリキュラムを編成しており、「自らの意思で学び、自ら思考する」能力の開発を目指しています。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以下のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

### II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	講義系科目として①社会科学の基礎理論、②専門基礎科目、③専門関連科目、④他学科・他学部の関連基礎科目を段階的・総合的に編成しています。トレーニング系科目として⑤計量分析や財務経営分析の知識、⑥少人数ゼミナール形式の演習を重視するとともに、実習系学修として⑦農業や関連業界の実態を知るための実習や現地調査を配置しています。少人数ゼミナール教育、フィールド体験型調査実習、情報収集・分析トレーニング等を重視し、現場重視の教育体系を取っています。こうして身につけた能力を4年次の卒業論文で集大成させており、「自らの意思で学び、自ら思考する」能力の開発を目指し、幅広く深い教養を持った、実社会に貢献できる人材を養成する目的でカリキュラムを編成しています。	国内外の経済社会と食料・農業・農村への関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食料・農業・農村にかかわる生産、加工、流通、消費、貿易などについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

### 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では国内外の食料・農業・農村について、社会科学の視点から理解を深めることができる教育プログラムを提供し、それらの関連分野において地域はもとより国際的に活躍できる人材養成を目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせ筋道をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

#### (1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 農業経済学の基礎となる社会系科目についての基礎的な知識を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取り、論理的に思考し、判断する力を備えている。
- ④ 農業経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす態度を備えている。
- ⑥ 現実の社会の中から学ぶ意欲と、コミュニケーション能力をもっている。

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」または「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では英語についての知識や思考力を評価するとともに、数学または小論文により諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」または「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、専門分野に関する講義受講後の講義の内容をふまえたレポートの作成、及び面接の結果を総合して選抜を行います。講義では社会問題や食料・農業の時事問題に関する内容を含むことがあります。面接は個人面接とし、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、食料・農業・農村への関心、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。小論文では、社会科学に関する基礎的な思考力及び表現力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
	後期日程	個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類(調査書)				○	
総合型選抜 A(一般)	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
	A(一般)	面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
学校推薦型選抜	後期日程	レポート作成※1	☆☆	☆	☆☆☆		
		面接		☆☆	☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
私費外国人留学生選抜	後期日程	出願書類(活動経験についての報告書)			○		
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆		
私費外国人留学生選抜	後期日程	出願書類(推薦書)			○		
		出願書類(調査書)			○		
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆		
私費外国人留学生選抜	後期日程	小論文	☆☆		☆☆☆		
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(成績証明書等)			○		

※1 レポート作成は「専門分野に関する講義」を受講したのちに行う。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

# 農学部 森林科学科

## アドミッション・ポリシー

### I プログラムの概要

本プログラムの特徴は、森林の育成・管理から生産物の加工利用までの一連の流れを基軸とし、森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に学修する点にあります。本学科の授業科目は、自然科学系から社会科学系までの幅広い分野から構成されていますが、特に演習林を主体とした実践的野外実習による行動的知性の涵養が重視されており、森林に関わる専門分野の基礎から応用にいたる科目と、実習科目を有機的に組合わせたカリキュラムとなっています。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

### II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	授業の科目群を1)基軸科目(導入、総合)、2)専門基礎科目群および3)専門科目群(育林学、森林社会科学、森林工学、林産学の4教育分野)の3つに区分しています。基軸科目(導入)は以後の学修をして行く上で不可欠な科目群であり、専門基礎科目は、各教育分野の専門科目を理解するのに必要となる科目群です。また、専門科目は、学生が必ず修得すべき学修領域が必修科目として設定されており、さらに専門選択科目を学修することによって森林、林業、林産業に対する専門知識を深めていきます。基軸科目(総合)は、森林科学の思想と技術を学修・修得した後、さらに総合的なテーマに協力して取り組むことなどを通じ、専門家としての資質を高めるために設定された科目群です。	森林科学の専門分野への関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

### 入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では森林を取り巻く諸問題の解決に取り組むため、森林の育成・管理から生産物の加工利用までの理解を深めることができる教育プログラムを提供し、知識・技能と行動的知性を備え持つ人材(フォレスター)の養成を目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。



### III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

#### (1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 森林科学の基礎となる数理系と社会系科目等についての基礎学力を有している。
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている。
- ④ 森林科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 主体性があり、森林・林業分野への熱意を持ち、行動を起こす意欲とコミュニケーション能力を備えている。
- ⑥ 森林・林業分野への熱意と、将来には指導的立場をめざす意欲を持っている。

#### (2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では理科(生物、化学もしくは物理)または数学、並びに英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、論述試験、面接及び大学入学共通テストの結果を総合して選抜を実施します。論述試験では、森林科学を学ぶ上で必要とされる数理系科目と社会系科目等に関する基礎的な素養及び論理的思考力を評価します。面接は個人面接とし、コミュニケーション能力と社会への貢献、森林・林業分野に対する関心や意欲を評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。小論文では、森林・林産業について学ぼうとする熱意、論理的思考能力、記述表現能力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

#### (3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
	後期日程	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆		
		出願書類(調査書)				○	
総合型選抜 A(一般)	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
	後期日程	論述試験	☆☆	☆	☆☆☆		
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆
学校推薦型選抜	前期日程	出願書類(調査書)			○		
	後期日程	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆		
私費外国人留学生選抜	前期日程	出願書類(調査書)			○		
	後期日程	英語外部試験	☆☆☆				
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆		
		小論文			☆☆☆		☆☆
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆
出願書類(成績証明書等)				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの  
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

本学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの学部・学科・課程・系・分野に限られます。

なお、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学における学校推薦型選抜に出願することはできません。

### 3 募集人員

学部	推薦区分	学科・分野等		募集人員	摘要* (学校長が推薦できる人数)
国際学部	一般推薦	国際学科		36	2名以内
		計		36	
共同教育学部	一般推薦	学校教育教員養成課程	全ての系・分野	20	
		計			
工学部	一般推薦 ***	基盤工学科	化学系	10	
			機械・情報電子系	25	
	専門高校・ 総合学科推薦 ****	基盤工学科	機械・ 情報電子系	5	
			計		
農学部	一般推薦	生物資源科学科	8	2名以内	
		応用生命化学科	7		
		農業環境工学科	3		
		農業経済学科	4		
		森林科学科	4		
	専門高校・ 農業関連学科推薦	生物資源科学科	3	2名以内	
		森林科学科	2		
		農業環境工学科	3		
	専門高校・ 総合学科推薦	農業経済学科	2		
計		36			
合計				132	

\* 複数の課程（全日制、定時制、通信制）を置く高等学校は、各課程において、上記の摘要欄に記載されている人数以内で推薦できます。

\*\* 共同教育学部に合格し入学した者の系・分野振分けは、1分野5名を上限として入学時に本人の希望等により決定します。

\*\*\* 工学部基盤工学科の一般推薦については、化学系と機械・情報電子系の2つの系に分けて入学者選抜を行います。化学系に合格し入学した者は2年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し入学した者は、本人の希望と1年次の成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

\*\*\*\* 専門高校・総合学科推薦に合格し入学した者は、出願時の希望配属コースに従って2年次より機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

## 4 出願資格

### ○ 一般推薦

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学部・学科・分野等の要件の全てを満たす者とします。

#### ① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者

#### ② 本学に入学後、意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者。ただし、共同教育学部学校教育教員養成課程にあっては、本学に入学後、学校教員を目指して意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者

#### ③ 各学部・学科・分野等別の要件（下表）

学部	推薦区分	学科・分野等	要件
国際学部	一般推薦	国際学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②実用英語技能検定2級以上取得かつスコア1990点以上、TOEIC Listening & Readingスコア550点以上、GTEC（CBTタイプ）スコア1005点以上、TEAP（4技能）スコア240点以上のいずれかを取得している者（注1） ③調査書の学習成績概評がB以上の者
共同教育学部 （注2）	一般推薦	学校教育教員養成課程 全ての系・分野	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②将来、栃木県内の小学校教員として活躍することに強い希望と意志を有する者 ③調査書の学習成績概評がB以上の者
工学部	一般推薦	基盤工学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の学習成績概評がB以上の者
農学部	一般推薦	生物資源科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の学習成績概評がB以上の者
		応用生命化学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者
		農業環境工学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②数学Ⅲを履修し、理数系の領域に関心を持つ者（注3） ③調査書の学習成績概評がB以上の者
		農業経済学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②農業・食料・環境にかかわる社会問題や農村地域のくらしに関心のある者 ③調査書の学習成績概評がB以上の者
		森林科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②物理、化学、生物の中から1科目以上を履修（見込みを含む）している者（注3） ③持続可能な森林の育成、林業・林産業について実践的に学習しようとする者で、将来、その分野の後継者、指導者を目指す者 ④調査書の学習成績概評がB以上の者

（注1）国際学部国際学科の要件②は、入試の実施日から、実用英語技能検定（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については一次試験日とする）、TOEIC Listening & Readingは過去3年以内、GTEC（CBTタイプ）、TEAP（4技能）は過去2年以内実施した試験のスコア等を有効とします。有効とする検定試験の詳細は23ページを参照してください。

（注2）学校推薦型選抜において共同教育学部に出願する者は、本学の総合型選抜A（一般）では共同教育学部に出願することはできません。

（注3）総合学科等出身者で、各要件に記載されている科目名を履修していない場合は、10月16日（水）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

○ 専門高校等推薦

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学部・学科の要件の全てを満たす者としてします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校第3学年を令和7年3月修了見込みの者

② 本学に入學後、意欲的に勉學に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者

③ 各学部・学科・系別の要件（下表）

学部	推薦区分	学科・系	要件
工学部	専門高校・総合学科推薦	基盤工学科 機械・情報電子系	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、学業成績及び人物が優れた者（注） ②調査書の学習成績概評がAの者
農学部	専門高校・農業関連学科推薦	生物資源科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ②将来、農業及び農業関連産業に従事し、この分野の指導的立場を目指す者 ③調査書の学習成績概評がAの者
		森林科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、若しくは中等教育学校の農業に関する学科において、学業成績及び人物が優れた者（注） ②持続可能な森林の育成、林業・林産業について実践的に学習しようとする者で、将来、その分野の後継者、指導者を目指す者 ③調査書の学習成績概評がAの者
	専門高校・総合学科推薦	農業環境工学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校において農業に関する学科又は工業に関する学科を修了見込みの者及び修了した者。また、総合学科において農業あるいは工業に関する科目を合わせて20単位以上履修し修了見込みの者及び修了した者（注） ②調査書の学習成績概評がAの者
		農業経済学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校の農業に関する学科又は商業に関する学科において、学業成績及び人物が優れた者。また、総合学科において農業又は商業に関する科目を合わせて20単位以上履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ②農業・食料・環境にかかわる社会問題や農村地域のくらしに関心のある者 ③調査書の学習成績概評がAの者

(注) 各要件に記載されている出身学科（工業に関する学科、農業に関する学科、商業に関する学科等）に該当するか疑義のある場合、又は各要件に記載されている科目等名に該当するか疑義のある場合は、10月16日（水）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

## 5 出願手続

### (1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step 1	学生募集要項の確認	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容をご確認ください。
Step 2	インターネット出願登録 (詳細は22ページ)	下記のアドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 ( <a href="https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/">https:// e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/</a> )
Step 3	入学検定料の支払い (詳細は21ページ)	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
Step 4	必要書類の印刷 (詳細は23ページ)	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
Step 5	必要書類の送付	インターネット出願サイト及び本学ホームページから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「書留・速達郵便」で郵送してください。
Step 6	受験票の印刷 (詳細は25ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

### (2) 出願期間

	出願期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
学校推薦型選抜	令和6年11月5日(火) ～11月7日(木)	令和6年11月7日(木) 15時	令和6年11月7日(木) 17時

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

### (3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の9時から17時までにご持参してください。

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学 学務部入試課

### (4) 入学検定料について

入学検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。なお、入学検定料の免除を申請する方は、「(8) 入学検定料免除について」を参照の上、出願登録画面で「入学検定料の免除を申請します」にチェックを入れてください。

(5) 事前準備について

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備してください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 また、入学志願票等PDF書類の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Readerが必要です。</p> <p>&lt;PC利用時推奨ブラウザ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Microsoft Edge 最新版</li><li>・Google Chrome 最新版</li><li>・Mozilla Firefox 最新版</li><li>・Apple Safari 最新版</li></ul> <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。</p> <p>&lt;スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・iOS 12 以降</li><li>・Android OS 8 以降</li><li>・iPadOS 13 以降</li></ul> <p>※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認ください。 ※Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①インターネット出願登録入力中のテストメール</li><li>②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール</li><li>③入学検定料支払完了時の自動送信メール</li><li>④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール</li></ol> <p>※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>
志願者本人写真(データ)の用意	<p>インターネット出願登録にあたって、顔写真データ(ファイル形式自由、2MBまで)が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。</p>
その他必要書類の用意	<p>高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。(「(6)出願書類等」参照)</p>
角形2号封筒の用意	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。</p>
様式印刷の用意(プリンタ、用紙等)	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙(普通紙、PCC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等)を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。(個人情報の取り扱いには十分注意してください。)</p>

(6) 出願書類等

出願に必要な書類はこの表で確認してください。

○印は、各学部への出願に必要な書類を示します。

表中の「◇」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類、「◆」印の書類は、本学ホームページの入試情報のページから様式を印刷して作成する書類です。(入試情報ページ <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/index.php>)

出願書類等	国際学部	共同 教育学部	工学部	農学部	摘要
◇入学志願票	○	○	○	○	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 写真は、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。
◆推薦書	○	○	○	○	出身学校長が作成し、厳封したもの。 本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
調査書	○	○	○	○	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記入できない、又は調査書そのものが提出できない場合は必ず10月16日(水)までに学務部入試課へ相談してください。
◆自己推薦書	○	—	—	○ ※1	※1 農学部生物資源科学科の専門高校・農業関連学科推薦に出願する者のみ提出してください。 本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
実用英語技能検定 (「英検」(従来型)、 「英検S-CBT」、 「英検S-Interview」) 「合格証明書」* TOEIC(公開テスト) 公式認定証 「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」* GTEC(CBTタイプ) 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」 TEAP(4技能) 「成績表」 のいずれか1点	○	—	—	—	国際学部に出願する者のみ次のいずれか1つを提出してください。 ・実用英語技能検定(「英検」(従来型)、「英検S-CBT」、「英検S-Interview」)「合格証明書」 入試の実施日から過去3年以内に実施された(一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については、一次試験日とする)実用英語技能検定の「合格証明書」原本 ・TOEIC(公開テスト)公式認定証「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」 入試の実施日から過去3年以内に実施されたTOEICの公式認定証「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」原本 ・GTEC(CBTタイプ)「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」 入試の実施日から過去2年以内に実施されたGTEC(CBTタイプ)の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」写し ・TEAP(4技能)「成績表」 入試の実施日から過去2年以内に実施されたTEAP(4技能)の「成績表」写し
◆入学検定料免除 申請書	申請者のみ提出				地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、24ページ「(8)入学検定料免除について」を参照し、本学ホームページからダウンロードして作成し提出してください。
出願書類提出用封筒	○	○	○	○	市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒を各自で用意してください。
◇出願書類提出用宛名 シート	○	○	○	○	インターネット出願サイトからカラー印刷し「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックした上で、「書留・速達郵便」にて郵送してください。

(7) 出願書類に関する注意事項

- ・インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に送付する必要があります。
- ・受理した出願書類等はいかなる理由があっても返還しません。（\*の書類を除く）
- ・受理した出願書類等の登録及び記載内容は変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- ・提出した出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

(8) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成23年3月以降に災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

（ア）全壊

（イ）大規模半壊

（ウ）半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

（ア）警戒区域

（イ）計画的避難区域

（ウ）緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、本学ホームページより様式をダウンロードして作成した入学検定料免除申請書に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①ア㊦並びに㊧に該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。



(9) 受験票の印刷について

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和6年11月18日(月)以降にインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

## 6 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

(1) 事前相談の期限

令和6年9月25日(水)まで

事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書(様式はホームページに掲載

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/>)に次の内容を記載し、医師の診断書(入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写しでも可とします。)を添えて学務部入試課に提出してください。

- ① 氏名, 住所, 連絡先電話番号, 連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類(学校推薦型選抜), 学部・学科等
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

## 7 選抜の方法及び選抜日等

### (1) 選抜の方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さないで、出願書類の他、学部・学科等が課す面接・小論文・基礎能力試験の結果を総合して決定します。

学部	学科・分野等	試験内容	
国際学部	国際学科	面接	<p>複数の面接員による集団面接（自己推薦書等に関する質問、国際的な社会的文化的事象に関する内容の討論を含む）を通じて、一般的な理解力・思考力・表現力とともに、国際的な事象に関する関心、知識、問題把握の能力を評価する。 （具体的な方法） 40分程度の集団面接を行う。面接に先立って、国際的な社会的文化的事象に関する内容の課題文（A4、1枚程度）を読む。面接では、まず自己推薦書等に関連して一人ずつ自己紹介、自己アピールをする。次に、課題文に関する討論を行う。 （評価の観点） 国際的な事象に関する関心や知識の度合いをはかるとともに、課題文と他者の発言を理解する能力、問題点を把握する能力、自分の考えを論理的に構成する能力、それを表現する能力、討論を建設的な方向に導く能力を評価する。</p>
共同教育学部	学校教育教員養成課程全ての系・分野	小論文	基礎的知識とともに表現力や論理的思考力等を評価する。
		面接	面接は集団面接とし、複数の面接員より20分程度実施する。調査書等をもとに、アドミッション・ポリシーで求める小学校教員への学修意欲・適性等をみる。
工学部	基盤工学科	基礎能力試験	理数系分野の基礎知識と論理的思考力をみる。 数学、物理、化学、英語など高等学校等で学習する内容に関する基礎知識や論理的思考力を評価する。
		面接	理数系の基礎的な能力、適性、学修意欲、コミュニケーション能力などを評価する。個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分程度行う。
農学部	生物資源科学科	小論文	本学科で学ぶのに必要な国語力、表現力、考察力、創造力などを見ることを主眼として受験者の適性を評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～20分程度実施する。本学科で学ぶ内容に対する意欲や理解度及び表現力やコミュニケーション能力等を評価する。
	応用生命化学科	小論文	自然科学に関する理解力、関心度、論理的思考力、及び国語力などを評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～20分程度実施する。志望動機、社会的関心、課外活動、生物又は化学に関する基礎知識などについて質問し、受験者の資質や勉学意欲を評価する。
	農業環境工学科	小論文	自然及び社会の事象に関する理解力と考察力、理論的思考力、記述力などを評価する。
		面接	[一般推薦] 面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり20分程度実施する。数学又は物理に関する基礎知識、及び本学科で学ぶ内容に対する意欲や理解度、さらに英語を含めた表現力やコミュニケーション能力などを評価する。数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）又は物理（物理基礎（物体の運動とエネルギー）・物理（様々な運動））、英語に関する内容の試問を各数分程度含む。
			[専門高校・総合学科推薦] 面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり20分程度実施する。数学又は物理に関する基礎知識、及び本学科で学ぶ内容に対する意欲や理解度、さらに英語を含めたコミュニケーション能力などを評価する。数学Ⅰ・数学Ⅱ、物理基礎（物体の運動とエネルギー）、測量学のうち1科目と、英語に関する内容の口頭試問を各数分程度含む。
		小論文	文章表現から、考察力、創造力、論述力などを評価する。
	農業経済学科	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10分～20分程度実施する。志望動機、社会的関心、課外活動、将来の抱負などについて質問し、受験者の資質や勉学意欲を評価する。
		小論文	自己の独創性、総合的判断力、理論的構成力並びに正確な日本語の筆記力、表現力を評価する。
森林科学科	小論文	自己の独創性、総合的判断力、理論的構成力並びに正確な日本語の筆記力、表現力を評価する。	
	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10分～20分程度実施する。志望の動機と目的、将来の抱負、自己表現力などを評価する。	

## (2) 選抜の日時及び試験場

区分	学部	選抜日	受付開始時刻 集合時刻	集合場所	試験場	試験開始時刻
学校推薦型 選抜	国際学部	令和6年 11月30日(土)	8時 8時30分	峰キャンパス4号館 B棟玄関ホール	宇都宮大学峰キャンパス 国際学部 (宇都宮市峰町350)	9時
	共同教育学部		8時 8時30分	峰キャンパス8号館 A棟玄関ホール	宇都宮大学峰キャンパス 共同教育学部 (宇都宮市峰町350)	9時
	工学部		9時 9時30分	陽東キャンパス 2・3号館玄関ホール	宇都宮大学陽東キャンパス 工学部 (宇都宮市陽東7-1-2)	10時
	農学部		9時 9時30分	峰キャンパス1号館 A棟玄関ホール	宇都宮大学峰キャンパス 農学部 (宇都宮市峰町350)	10時

## (3) 試験時間割

学部	学科・分野等	【国際学部・共同教育学部・工学部・農学部】 令和6年11月30日						
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
国際学部	国際学科						面接 9:00～	
共同教育学部	学校教育教員養成課程 全ての系・分野		小論文 9:00～10:00				面接 10:30～	
工学部	基盤工学科			基礎能力 試験 10:00～11:00			面接 12:00～	
農学部	生物資源科学科			小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	
	応用生命化学科			小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	
	農業環境工学科			小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	
	農業経済学科			小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	
	森林科学科			小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	

集合時刻は、各学部で実施する最初の試験科目の開始30分前です。  
面接の終了時刻は、受験者数によるため未定です。

## 8 受験上の注意事項

### (1) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、インターネット出願サイトから印刷し、切り取り線に沿って切り取った「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに集合してください。
- ③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限る）、眼鏡、ハンカチ及びティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップだけです。
- ④ 下敷き、座布団は、監督者の許可を得たものだけに限り使用することができます。
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等は必ず電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない場合もあります。試験場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。
- ⑦ 昼食は持参してください。（国際学部・共同教育学部を受験する場合でも、面接の順番等により、試験終了が午後になる場合があります）
- ⑧ 試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

### (2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- |   |
|---|
| <p>ア インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、写真票に虚偽の内容があった場合や、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること</p> <p>イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること</p> <p>ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること</p> <p>エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと</p> <p>オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと</p> <p>カ 監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること</p> <p>キ 試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること</p> <p>ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること</p> <p>※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）</p> <p>ケ 監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること</p> <p>コ その他、試験時の説明で禁止された行為をすること</p> |
|---|

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※ その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

## 9 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません）

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次の URL をご覧ください。  
<https://www.nyushikakomon.jp/>

## 10 合格者発表

- (1) 発表日時

令和6年12月11日（水） 14時

- (2) 合格者には「合格通知書」を速達で郵送します。また、ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。
- (3) 在籍する学校の学校長には、選抜の結果を通知します。
- (4) 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。
- (5) 入学前の学修支援について  
合格者には、入学後の学修が効果的に進められるように、入学前に学修課題（例えば、レポートの提出）を与えることがあります。詳細は合格者に対し、各学部・学科等から通知します。
- (6) 工学部基盤工学科化学系に合格した者に対しては、高校から大学入学への移行を円滑とすることを目的とし、高校生活への影響に配慮しながら入学前教育を実施します。入学前教育では、対面（あるいはWeb会議システム）による仲間づくり、および大学での学修につながる基礎的な授業を行い、遠隔地からの参加も可能としています。複数回の実施を計画しており、第1回目を令和6年12月下旬頃実施する予定です。詳細は合格者に対して、学部から通知します。

## 11 入学手続

- (1) 手続期間

令和6年12月18日（水）・19日（木）〔ただし、19日は17時までに必着とします〕

※ 入学手続期間に入学手続を完了しない場合は、本学への入学資格を失い、さらに、「入学辞退願」により入学辞退を許可されない限り、他の国公立大学（※独自日程で入学者選考試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験してもその合格者とはなりません。（※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照）

- (2) 入学手続方法
- ① 入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際同封します。
  - ② 「大学入学共通テスト受験票」は入学手続等に必要となるので紛失しないよう大切に保管してください。（大学入学共通テストに出願した者のみ）
- (3) 入学手続時に必要な納付金等
- ① 入学料 282,000 円
    - ※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。
    - ※2 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
  - ② 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（4年間分）4,660円〔令和6年4月現在〕
  - ③ TOEIC IPテスト受験料（5回分）12,900円〔令和6年4月現在〕
  - ④ 洋書多読システム等受講料（1年間分） 6,820円
- (4) 入学後に必要な諸経費
- ① 授業料 535,800 円（年額）
    - ※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
    - ※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が運用されます。
    - ※3 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落しによる口座振替の方法で納付することになります。（前期分授業料口座振替日は5月下旬）
  - ② 教科書代 自己負担となります。
  - ③ 実験・実習費 自己負担になることがあります。
- (5) マイナンバーカードの使用について
- 宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。
- なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

## 12 留意事項

- (1) 学校推薦型選抜の出願者は一般選抜にも出願できます。その場合の本学への出願は、11月上旬に公表予定の「令和7年度宇都宮大学学生募集要項（一般選抜）」によります。
- (2) 学校推薦型選抜において共同教育学部に出願する者は、本学の総合型選抜A（一般）では、共同教育学部に出願することはできません。
- (3) 工学部基盤工学科化学系では、大学入学共通テストを課していませんが、入学後の修学支援の参考とするため、合格者のうち、大学入学共通テストを受験した者については、可能な限り自己採点結果の報告をお願いしております
- (4) 学校推薦型選抜による合格者が、本学に入学手続を完了したときは、他の国公立大学を受験しても合格者となりません。
- (5) 学校推薦型選抜で合格した者は、原則として入学辞退は認められません。  
ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和7年2月19日（水）までに「入学辞退願」（様式は自由）を提出し、必ず許可を得なければなりません。（「推薦入学の辞退を許可された者」でなければ、他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません）
- (6) 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

## 13 その他

- (1) 学校推薦型選抜に関して不明な点は、次に照会してください。なお、入学試験に関する照会は、原則として志願者本人が行ってください。

〒321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学学務部入試課 TEL 028-649-5112
---

※受付時間：平日 9時～17時

- (2) 受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。
- (3) 学校推薦型選抜の志願状況は11月11日（月）から11月22日（金）の17時まで公表します。

## 14 令和6年度学校推薦型選抜入学者選抜状況

学校推薦型選抜 I

学部	学科・課程・系・分野等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
国際学部	一般推薦	国際学	36	82	81	36	36	
	計		36	82	81	36	36	
共同教育学部	一般推薦 (A)	教育人間科学系	教育分野	2	7	7	2	2
			教育心理分野	2	5	5	2	2
			特別支援教育分野	3	9	9	4	4
		人文科学系	国語分野	2	8	8	2	2
			社会分野	2	4	4	2	2
			英語分野	2	4	4	2	2
		自然科学系	数学分野	3	14	14	3	3
			理科分野	3	6	6	3	3
			技術分野	3	6	6	4	4
		芸術・生活・健康系	音楽分野	3	9	9	3	3
			美術分野	2	2	2	2	2
			保健体育分野	3	6	6	3	3
				家政分野	2	3	3	2
	一般推薦 (B)	全ての系・分野		20	62	62	20	20
計			52	145	145	54	54	
工学部	一般推薦	基盤工学科	化学系	10	18	18	11	11
			機械・情報電子系	30	64	64	31	31
	専門高校・総合学科推薦	基盤工学科	機械・情報電子系	5	3	3	2	2
計			45	85	85	44	44	
農学部	一般推薦	生物資源科学科	7	35	35	9	9	
		応用生命化学科	7	27	27	10	10	
		農業環境工学科	2	4	4	2	2	
		農業経済学科	4	12	12	6	6	
		森林科学科	3	12	12	3	3	
	専門高校・農業関連学科推薦	生物資源科学科	3	8	8	3	3	
		森林科学科	1	2	2	1	1	
	専門高校・総合学科推薦	農業環境工学科	3	4	2	2	2	
農業経済学科		2	4	4	2	2		
計			32	108	106	38	38	
合計			165	420	417	172	172	

学校推薦型選抜 II

学部名	学科等名		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
農学部	一般推薦	森林科学科	3	16	16	3	3
合計			3	16	16	3	3



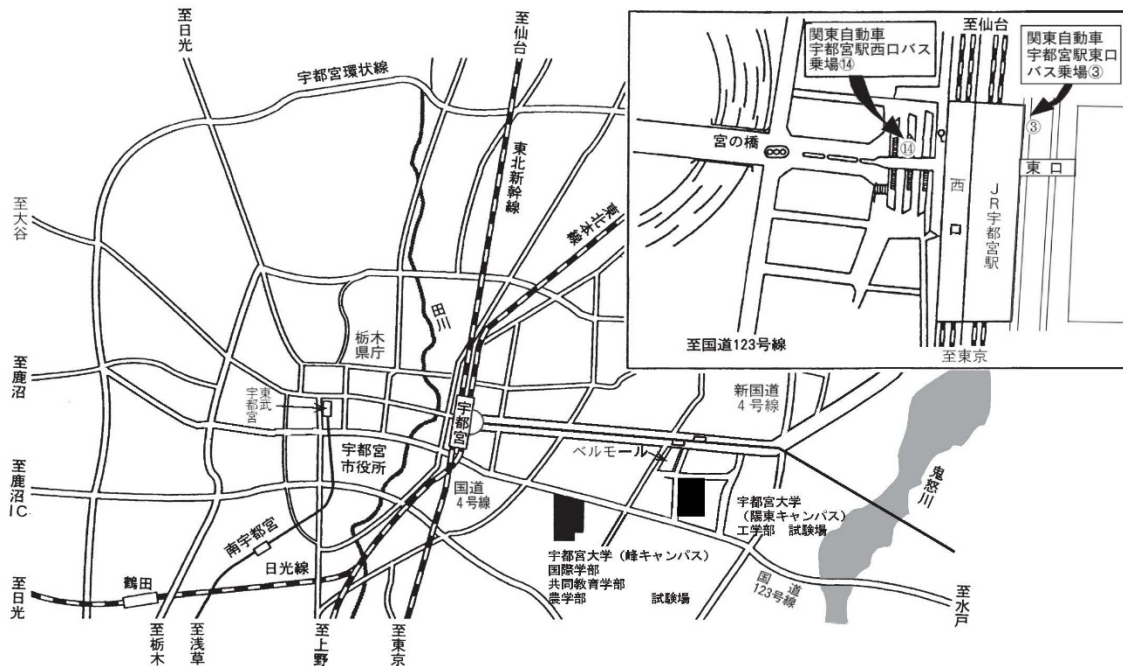
## 15 試験場案内図

東京都内から本学最寄駅までの所要時間

- JR東京駅からJR宇都宮駅 JR東北新幹線利用 約1時間  
JR上野東京ライン, 宇都宮線利用 約2時間
- JR新宿駅からJR宇都宮駅 JR湘南新宿ライン, 東北新幹線利用(大宮駅乗換) 約1時間15分  
JR湘南新宿ライン, 宇都宮線利用 約1時間50分
- 東武浅草駅から東武宇都宮駅 東武スカイツリーライン, 東武日光線, 東武宇都宮線利用(曳舟, 南栗橋, 新栃木駅など乗換)  
約2時間30分
- 羽田空港からJR宇都宮駅 関東自動車(高速バス)利用 約3時間

仙台から本学最寄駅までの所要時間

- JR仙台駅からJR宇都宮駅 JR東北新幹線利用 約1時間20分



◎宇都宮大学峰キャンパス国際学部, 共同教育学部, 農学部試験場 (JR宇都宮駅から約 2.2 km)

- 関東自動車 (真岡, 益子, 星の杜中学校・高等学校, ベルモール行など)  
JR宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約10分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分  
東武宇都宮駅バス乗場から乗車約20分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分
- 関東自動車 (卸団地循環, 星の杜中学校・高等学校, ベルモール行)  
JR宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分

◎宇都宮大学陽東キャンパス工学部試験場 (JR宇都宮駅から約 4.2 km)

- 宇都宮ライトレール (ライトライン) (芳賀・高根沢工業団地行など)  
宇都宮駅東口から乗車約10分「宇都宮大学陽東キャンパス」下車 徒歩9分
- 関東自動車 (真岡, 益子, 星の杜中学校・高等学校, ベルモール行など)  
JR宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約15分「工学部前」下車 徒歩6分  
東武宇都宮駅バス乗場から乗車約25分「工学部前」下車 徒歩6分
- 関東自動車 (ベルモール, 星の杜中学校・高等学校行)  
JR宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「工学部前」下車 徒歩6分

### [参考]

宇都宮ライトレール(株) TEL0570-011-177  
関東自動車(株)本社路線バス部 TEL 0570-031811

栃木県の高校生の皆さんへ

## 入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内

宇都宮大学では本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、選考の上、入学時に必要となる学資の一部を給付型奨学金として支給する制度を設けています。

### ◆申請資格（次の全てに該当する方）

1. 令和6年度に栃木県内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者又は高等専門学校  
の第3学年を修了見込みの者
2. 令和7年4月に本学学部正規課程の1年次に入学する予定の者（外国人留学生を除く。）で、  
本学に強く入学を志望する者
3. 世帯の年間収入が500万円以下である者
4. 令和6年度の総合型選抜A（一般）、学校推薦型選抜又は一般選抜（前期・後期）に出願し、  
合格した場合には入学することを確約できる者

※注：申請資格の3については令和6年度実績であり、今後変更となる場合があります。具体の申請資格については、必ず「入学応援奨学金（予約型奨学金）募集要項」でご確認ください。

### ◆支給額

30万円（一時金）

### ◆採用予定者数

20人程度

奨学金の要項及び申請用紙は、本学ホームページを参照ください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学ホームページ トップ→受験生の方→学費免除・奨学金制度

### 【申請から給付までのスケジュール】

#### 令和6年

9月下旬～10月上旬（予定）（消印有効） 申請受付期間

11月（予定） 内定者決定通知

#### 令和7年

4月 受給者決定、奨学金支給

### 【奨学金に関する問い合わせ先】

宇都宮大学学務部学生支援課学生支援係

TEL 028-649-5102

※在学する学校を經由して申請してください。入学試験出願書類に同封できません。





# 宇都宮大学

## 受験生ポータルサイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

又は右図 QR コードでご確認ください。



QR コード



宇 都 宮 大 学 入 試 課  
〒321-8505 宇都宮市峰町350  
TEL 028(649)5112